

2022年12月 1日 第2499回例会
12月第1例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ロータリー」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「疾病予防と治療月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



今月はRIの定める「疾病予防と治療月間」です。

ロータリーで疾病予防といえばポリオワクチンが頭に浮かぶのですが、RI及びロータリー財団では、HIVやマラリ

アなど様々な疾病と闘う人たちを支援しています。

しかし昨今、疾病と聞いて誰もがイメージするのは、ここ数年世界中で猛威を振るい、現在国内でも多数の感染者が報告されている新型コロナウイルス感染症ではないでしょうか。

このような状況の中、広島西RCの運営にも相当気を遣わなければなりません、前年度 梶本会長年度に大まかなガイドラインを定めていただき、本年度もそれを基に運営しているところです。

また、感染状況などを考慮しつつ、例会欠席時のメイクアップ不要について、毎月理事会において審議しています。それにも拘らず、高い例会出席率を維持していることは、会長としてたいへん嬉しく思うところですし、一会員として誇りに思うところです。

会員の皆様には、何よりご自分とご家族の健康を第一に考えていただき、感染防止はもとより健康維持管理に努めていただきますようお願いいたします。

新会員 千代山 浩二 君（推薦者：柴田 脩司 君、推薦同意者：田原 真一郎 君）に会員証、ロータリーバッジ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



● 会務報告

古本幹事

次週 8 日例会は年次総会となっておりますので、多数のご出席をお願いいたします。

引き続き12月もメイクアップは不要となっております。広島県内の新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にありますので、体調に少しでも不安のある方は例会をお休みいただきますようお願いいたします。

例会終了後、4階「カメリア」において12月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 卓話予告

日時	テ マ
12/15(木)	「遺伝情報に基づいた最先端のがん診療 ～がんゲノム医療と遺伝性腫瘍～」 広島大学病院 ゲノム医療センター長 遺伝子診療科教授 檜井 孝夫 氏

●委員会報告

✳️ プログラム・出席委員会

出席報告 井原君

本 日 (12月1日・木曜日)

会員数 87名 出席者 74名

欠席者 13名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 2名

計 76名

4週前の例会2022年10月27日・木曜日

出席率 100%



●会員記念日

🎂 祝 12月お誕生日おめでとうございます。

(7名)

隅田君 諏訪(昭浩)君

新原君 土井(英)君 大本君

川西君 原 君



■新会員紹介

ちよま こうじ
○千代山 浩二 君

推 薦 者 柴田脩司君

推薦同意者 田原真一郎君

生年月日 1979年8月28日

勤 務 先 株式会社センゴク木材

役 職 名 代表取締役社長

学 歴 広島工業技術学院

私は、昭和54年に広島で生まれ育ちました。広島の建築専門学校を2000年に卒業後、父が創業したセンゴク木材に入社し、仕事はもちろん、人間性や生き方についても父から多くの教を学びました。

2018年に代表取締役社長に就任し、弟の千代山貴行(代表取締役専務)と2名代表の形で会社を継承しており、現在に至ります。

個人では、妻と子供6人の8人家族で、将来は子供たちと一緒に仕事をしたいと考えております。

弊社は安佐北区小河原町で、木造住宅建築事業を主に、不動産開発事業、分譲住宅、注文住宅、リフォーム事業等を行っており、造成設計～住宅等の設計～材料の仕入れ～施工～インテリア～販売

までを一貫して行う【一気通貫体制】が特徴です。また、木材業で培った豊富な専門知識と、充実した機械設備で、木材の持つ魅力を存分に活かした提案ができることが弊社の強みです。2020年には新社屋も建設いたしました。

私たちは「お客さまの満足の先に利益がある」と考えており、木造建築事業を通して、これからもお客様の歡びに日々お応えしてまいりたいと思います。

これからは、ロータリークラブの奉仕の理念、精神をしっかりと学び、諸先輩方のご指導、ご教授をいただきながら、親睦を深め、人としてまた経営者として成長していけるよう、精進してまいります。

何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



●スマイルボックス SAA 柴田委員長

👤柳原君(自主申告・大枚)

11月27日、三女が、私にとりまして二人目の孫となる女の子を無事出産しました。「ひなた」と命名されました。

今年、二人目の孫ですが、我が国の出生率も最低を記録する中、頑張ってくれた娘夫婦にエールを送りながら、爺馬鹿と言われないよう気を付けたいと思います。

健康で元気に育ってくれることを願っています。

👤新原君(自主申告・トリプル)

本日、12月1日より10日間、年末交通事故防止県民総ぐるみ運動期間となります。

スローガンは「許さないハンドル・スマホの二刀流」です。会員、ご家族、社員の皆様の無事故、無違反を祈念して出宝します。



森信君（自主申告・トリプル）

11月25日から夫婦で上京するので、念のため23日にPCR検査を受けました。

24日は普通に例会に出席し、夜もホテル入口の体温測定では36.4度と平熱でしたので、そのまま「歴代会長の会」に出席しました。デザートが出たころ携帯が鳴り、PCRセンターから「あなたは陽性ですのでこれからは保健所の指示に従ってください」とのことでした。急遽ご出席の皆様はその場で報告し、帰宅しました。その夜のみ37.2度に上がりましたが、翌日からは熱も下がり風邪の症状のようでした。無事保健所からの自宅養生も解けて本日より復帰いたしました。関係の方々にはご心配をおかけいたしました。

検査を受けずに上京していたらと思うとゾッとします。皆様も時折PCR検査をすることをお勧めいたします。

川妻君（自主申告・トリプル）

①12月23日までリーガロイヤルホテルの1階ロビーにおきまして『広島で輝く女性シリーズ』として写真の展示をしていただいています。元広島銀行行員の写真作家・空尾 伊知郎 氏の撮影で、30名近くの女性の写真が展示されています。お立ち寄りの際にはぜひご覧いただければと思います。



②広島経済レポート主催の『経営者に学ぶ学生インタビュー』ということで女学院大学の学生たちに弊社取材していただきました。彼女たちとの時間はとても楽しく、出来上がった文章もとても読みやすいものになっていました。

大地君（自主申告・ダブル）

12月15日(休) 18:30から、「広島東洋カープ 新井新監督スペシャルトークショー」を開催いたします。皆様のBOXに、ご案内を入れさせていただきました。

ロータリークラブ様限定の特別料金です。皆様お誘いあわせの上、是非お越しくださいませ。

千代山君、柴田君、田原君

本日、入会の千代山君、推薦者の柴田君、推薦同意者の田原君、それぞれご出宝をお願いします。

柴田君（自主申告・大枚）

①8月に新国立競技場で行われた、矢沢 永吉デビュー50周年コンサートに行き、また福岡で開催された同じコンサートにも行きましたが、台風直撃のため、新幹線が止まる前に帰りました。次が葉加瀬 太郎のバイオリンコンサート、福岡ベイパイドームでの桑田 圭祐コンサート、ローマの休日の映画に合わせ、生のオーケストラで聴くコンサート、そして昨夜、広島グリーンアリーナで開催された、矢沢 永吉の150回目の武道館コンサートを記念してのツアーに行ってきました。来年も生の音楽をたくさん聴けるよう願って出宝します。

②12月25日、㈱柴田燃料商会は、創業70周年を迎えます。昭和27年当時の東雲は、まわりがレンコン畑と家がチラホラある程度で、八百屋からのスタートでした。

先代からバトンを引き継いで12期目、経営には大変苦労していますが、世の中の変化に対応しながら、社会から必要とされる会社作りを目指します。

スマンボックス

穴戸君（ダブル）

先週の例会進行の際に、親睦活動委員会の来客紹介を飛ばしてしまいました。

今年度に入り5か月が経過し、明らかな油断によるミスでした。改めて気を引き締めるという意味で、ダブルいかせていただきます。





広島県の医療事情

福田 康彦 君

少子高齢化と人口減少はすべての分野に大きな影響を与えているが、医療分野は中でも最も大きな変革を迫られている。高齢化は医療の量と質の変化をもたらすと共に、地域格差が大きいため、各都道府県の地域にあった適切な医療政策が求められている。

広島県の医療改革を進める上で、政令指定都市広島市が人口の4割以上を占め一極集中と人口密度の希薄による医療地域格差が大きく、例えば日本で北海道に次ぐ二番目に多い無医村地区を抱えるなどの困難さがある。従って広島市と他地域との医療施策は異なっている。

ここでは広島市の医療事情と今後の医療課題について述べる。今話題になっている“1,000床規模新病院構想”（以下新病院）は、県立広島病院、JR広島病院、中電病院を統合し、駅北へ移転する案であるが、その背景は広島が抱えている医療課題を総合的に解決することを意図した大きな改革案である。

2015年から団塊の世代が後期高齢者になる2025年までの10年間を目標に設定された「地域医療構想」に沿って広島県でも対応されている。その主眼は、各病院の機能を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4種類のいずれかに特化し、総病床数を減少させることにある。厚労省から示された2025年での広島市の総病床数10,450床の指標を達成するには2,000床以上の削減と回復期病床以外の病床すべての削減が必要とされる。新病院では3病院統合による大幅な総病床数の削減と高度医療病床の削減が意図されている。その他広島記念病院と吉島病院の統合も予定されている。

広島市はがん治療など高度な医療と入院需要数は増加傾向が続く中で、医師不足が深刻である。広島県の医師総数は全国平均をわずかに上回るが、中四国地方の中では山口県について人口10万対比では最も少ない。しかも39歳以下の若手医師の減少と医師の高齢化は将来の本県医療に暗い影を落

とす。また、小児科と産科専門医数は全国平均を大きく下回っている。その為新病院構想では舟入病院、土谷病院の小児医療を新病院に統合し、小児・生育医療センター設置が最も重要視されている。また、がん医療センター、心臓病医療センター、脳卒中医療センターなどの設置は高度医療の充実という側面だけでなく若手医師の確保に大きな期待がかかる。

その他高齢化社会に適した救急医療体制の改革、外来医療制度変更、回復期医療の拡張、慢性期医療の充実、医療と介護の連携など克服すべき課題は大きい。これらの大きな医療改革には医療関係者、行政の努力だけでなく、県民、市民の理解と協力が不可欠である。

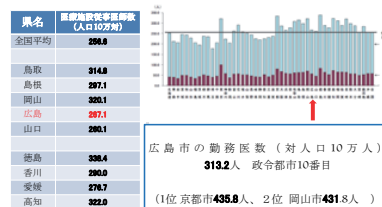
広島県の医療体制の現状・課題

- がんと心疾患の死亡者数は増加傾向（患者増と医療の質）
- 無医地区数は、全国ワースト2位（過疎地医療対策）
- 若手医師が減少（医師の問題）
- 救急搬送困難事例の割合が高い（救急医療の問題）
- 医師の働き方改革への対応（労働環境改善）
- 急性期病床は過剰、回復期病床は不足（医療制度改革と病院機能）

広島圏域病床再編の現状

	基準病床数	2019年現状	削減必要病床数	不足病床
広島	10,450	13,331	2,881 (21.8%)	回復期2,120床
広島西	1,438	2,011	573 (28.5%)	回復期308床
呉	2,206	3,316	1,110 (33.5%)	回復期347床
広島中央	1,678	2,408	730 (30.3%)	高度急性期108床、回復期116床
尾三	2,519	3,431	912 (26.6%)	回復期329床
福山・府中	4,565	5,318	753 (14.2%)	回復期840床
備北	804	1,538	734 (47.7%)	高度急性期30床、回復期127床

広島県・広島市の医師数（2020年）



広島都市圏における病院再編案



広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 新原 靖
幹事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrcc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会